

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	外国籍市民支援事業	事業期間	平成 24 ~ 年度	整理番号	01070210
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子
				連絡先	145

計 画 （ P 目 的 的 L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援
				細施策	01	生活応援体制の確立
				事務事業	01	外国籍市民支援事業
	予算事業名			会計コード	001	款 02 項 01 目 09 事業 04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・外国籍市民の方が、言葉や文化の違いから生じる生活上の様々な課題に対して、茅野市で安心して生活するためにタイムリーに必要な情報に関する講座や日本語教室を開催する。 ・外国籍市民の方が日常生活の中で不安や悩み、問題等に対して身近な相談場所として、毎週、家庭教育センターを会場にして、外国籍市民サポートグループ代表岡元春美さんが相談員で受けている。				
	現状と背景 （どうして）	・外国籍の方の転入者は減ってはきているが、永住者は増えている。生活をしている中でどんな事に不安を感じているのか、どこから情報を得ているのか把握はできていない。講座等を開催することにより、外国籍市民の方の実情も確認できる。 ・市民課主催の月1回の相談日に来れない方のために、毎週定時間に開催している。				
	対象	受益者 （誰のために）	外国籍市民			
		対象 （直接働きかける）	外国籍市民			
	目的 （どんな状態にしたいか）	外国籍市民の方が、言葉や文化の違いから生じる生活上の様々な困難を取り除いてあげ、茅野市で安心して生活できることにより、永住者が増加する。				
	手段・方法 （どうやって）	タイムリーな情報や、生活上で不安になっていることをあげ、講座内容に入れる。外国籍市民の方と多く関わっている外国籍市民サポートグループ ねこじゃらし茅野と連携し、講座の計画を立てる。				
N ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		日本語教室	開催数	回		24
		生活情報講座開催	開催数	回		1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		日本語教室	受講者数	人		300
		生活情報講座参加数	参加数	人		30

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	14,900	23,000	418,016	269,726	934,000	
	財 源 内 訳	国庫支出金	円					
		県支出金	円					
		地方債	円					
		その他特定財源	円					
	一般財源	円	14,900	23,000	418,016	269,726	934,000	
	職 員 数	正規職員	人	0.10	0.10	0.15	0.10	
		嘱託職員	人					
		臨時職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
	合計	人	0.11	0.11	0.16	0.11		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	0.00	0.00	7.00	5.00	17.00		
D O ）	活動指標	開催数	目標	回	24	24	24	24
			実績	回	24	24	24	24
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
		開催数	目標	回	1	1	1	1
			実績	回	1	1	1	1
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
	成果指標	受講者数	目標	人	300	300	300	300
			実績	人	221	401	303	300
			達成率	%	-	73.67	133.67	101.00
		参加数	目標	人	30	30	30	50
			実績	人	20	21	28	40
			達成率	%	66.67	70.00	93.33	80.00
備考								

事務事業名	外国籍市民支援事業	事業期間	平成 24 ~	年度	整理番号	01070210
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子	連絡先 145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	市で実施している支援事業(日本語教室、日常生活相談、生活情報講座)をホームページ、広報等で周知する。	講師2名(岡本さん、徳本さん)でスタートする。広報ものに掲載した。	広報ものに掲載することにより、問い合わせがあったので、定期的に周知する。
第2期	日本語教室の状況の確認、茅野どんぱん、生活情報講座の計画を立てる。	県主催「外国籍市民の防災訓練」を、市事業でも必要な内容であり、平成27年度の「外国籍市民生活情報講座」として実施して外国籍市民相談員さんに参加者の呼びかけを協力してもらい、予想以上の数であった。災害に向けて、外国籍市民と支援側とが心得ておくべき必要な内容であったので、県事業に協力したことは良い結果であった。	茅野市在住で通訳のできる市民の把握は必要だと思う。
第3期	日本語教室の状況の確認、予算作成の前に茅野どんぱん、生活情報講座について外国籍市民サポートグループと協議する。	平成28年度から市民課の「外国籍市民相談」をパートナーシップのまちづくり推進課が担当となることに伴い、相談員以外の業務も受けてもらい、多文化共生の推進をすることに決まった。	現在の相談員に来年度からの「多文化共生推進員」としての取り組みの理解を得る事が必要。
第4期	外国籍市民相談の日に説明に行き、委嘱の事業内容を確認していただく。	平成28年度から、委嘱内容を外国籍市民相談員から多文化共生推進員となることには了解を得ている。	多文化共生推進員として、どんな活動をしてもらうのか、市が何を目的としているのか説明が必要である。

事 中 評 価				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性	②	⑤	⑦
日本語教室も日常生活相談も極端な現象も見られず、安定している。教室と相談を並べてのは、良い結果となっている。		③	⑥	⑨
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)		④	⑧	⑩
市民課が実施していた事業「外国籍市民相談」を当課で受けることにより、市民課より、予算金額がそのまま移動する。		①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	外国籍市民の方が参加してみたいという気持ちにさせるのには時間をかけての計画が必要															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	01070210															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	茅野市で、しっかりと永住し、家庭がある方たちにとって、外国籍市民の生活応援には必要な事業である。	茅野市で、しっかりと永住し、家庭がある方たちにとって、外国籍市民の生活応援には必要な事業である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	外国籍市民の方が参加してみたいという、内容を計画し、チラシも工夫する。	外国籍市民の方が参加してみたいという、内容を計画し、チラシも工夫する。								
今後の方向性	今後の方向性									
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成28年4月13日	最終評価責任者	パートナーシップのまちづくり推進課長	田 中 裕 之
---------	------------	---------	--------------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健診・検診・健康相談事業	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03020102
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援
				細施策	02	保健・医療・福祉応援体制の確立
				事務事業	02	健診・検診・健康相談事業
	予算事業名				会計コード	001 款 - 項 - 目 - 事業 -
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	外国籍市民の健診等・育児に関する相談等を実施。				
	現状と背景 （どうして）	外国籍市民が多数おり、国も多様化している。乳幼児健診や予防接種の現場における対応は実情に応じて実施しているが、文化・言語に対する体制が整備されていない。				
	目的 的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	外国籍市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
	意図	外国籍市民が母国語等で安心して相談できる体制を整備する。				
	手段・方法 （どうやって）	健康管理センター、各サービスセンター、こども課での総合相談及び市民課での外国籍市民相談で随時相談等を受けている。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		相談機会の確保	相談機会の確保			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		相談機会の確保	相談機会の確保			

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財 源 内 訳	国庫支出金	円				
		県支出金	円				
		地方債	円				
		その他特定財源	円				
	職 員 数	一般財源	円				
		正規職員	人				
		嘱託職員	人				
		臨時職員	人				
		合計	人				
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	
活 動 指 標 （ ）	相談機会の確保	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
	達成率	%	-	-	-	-	
成 果 指 標 （ ）	相談機会の確保	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
実績		-					
	達成率	%	-	-	-	-	
備考	多部署で対応していること、また、外国籍市民に対する相談のみを割り出すことが困難なため、事業費については記載しないこととした。						

事務事業名	健診・検診・健康相談事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020102
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。	家族・友人の通訳により相談がスムーズに行えた。	日本語が話せない人の相談。
第2期	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。	家族・友人の通訳により相談がスムーズに行えた。	日本語が話せない人の相談。
第3期	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。	家族・友人の通訳により相談がスムーズに行えた。	日本語が話せない人の相談。
第4期	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。	家族・友人の通訳により相談がスムーズに行えた。	日本語が話せない人の相談。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	多数の外国籍市民が生活していることから、その方々が抱えている健康に関する課題を踏まえた相談体制を整える。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	03020102															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	関係各部署で、外国籍市民への健康に特化した相談ではないが、総合相談の中で随時相談を受けている。	関係各部署で、外国籍市民への健康に特化した相談ではないが、総合相談の中で随時相談を受けている。					関係各部署で、外国籍市民への健康に特化した相談ではないが、総合相談の中で随時相談を受けている。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。	外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。					外国籍市民の方が、いつでも気軽に相談に来れる体制を維持する。			
今後の方向性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	検診等多言語案内書作成事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020101
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 07 第7章 心豊かな多文化共生社会を創る		
			施策 01 第1節 外国籍市民の生活応援			
			細施策 02 保健・医療・福祉応援体制の確立			
			事務事業 03 健診・検診等案内書作成事業			
	予算事業名	一般事業費		会計コード 001 款 04 項 01 目 01 事業 03		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	乳幼児健診・予防接種・成人の検診に関する多言語案内を策定する。				
	現状と背景 （どうして）	現在健康カレンダーによる各種検診などの申し込みを行っているが、外国籍市民に理解されないため。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	外国籍市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	乳幼児健診や予防接種、成人の検診に関する案内及び冊子を多言語に翻訳し、外国籍市民が健診等を受けられるようにする。			
	手段・方法 （どうやって）	ポルトガル語、タガログ語、中国語、英語、韓国語の乳幼児健診及び予防接種の日程表、乳幼児健診・予防接種手帳、成人の検診案内を作成し、市民課、こども課、保健課、健康管理センター、各SC、0123広場の窓口に置く。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		案内の作成	言語数	か国語	ポルトガル語、タガログ語、中国語、英語、韓国語	5
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		案内の作成	案内作成言語数達成率	%	作成言語数÷最終目標数	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	140,000	140,000	150,000		150,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	140,000	140,000	150,000		150,000	
職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.05	0.05	0.05	0.05		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	2.00	3.00	3.00	-	3.00	
D （ ）	活動指標	言語数	目標 実績	か国語	5 5	5 5	5 5
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標 実績	-	-	-	-	-
		達成率	%	-	-	-	-
O （ ）	成果指標	案内作成言語数達成率	目標 実績	%	100 100	100 100	100 100
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標 実績	-	-	-	-	-
		達成率	%	-	-	-	-
備考							

事務事業名	検診等多国語案内書作成事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020101
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326	

期	目標	実績	課題
第1期	多国籍市民が翻訳された検診内容や予防接種の日程を確認し、検診等を受けられるようにする。	ポルトガル語、中国語、英語の翻訳された乳幼児健診日程と予防接種の案内通知、成人の健診日程を作成。	多国籍市民の各国の登録者に変動があるため、状況に対して対応する必要がある。需要が少なかった、韓国語は状況をみて対応する。
第2期	多国籍市民が翻訳された検診内容や予防接種の日程を確認し、検診等を受けられるようにする。	ポルトガル語、中国語、英語の翻訳された乳幼児健診日程と予防接種の案内通知、成人の健診日程を作成。	多国籍市民の各国の登録者に変動があるため、状況に対して対応する必要がある。需要が少なかった、韓国語は状況をみて対応する。
第3期	多国籍市民が翻訳された検診内容や予防接種の日程を確認し、検診等を受けられるようにする。	ポルトガル語、中国語、英語の翻訳された乳幼児健診日程と予防接種の案内通知、成人の健診日程を作成。	多国籍市民の各国の登録者に変動があるため、状況に対して対応する必要がある。需要が少なかった、韓国語は状況をみて対応する。
第4期	多国籍市民が翻訳された検診内容や予防接種の日程を確認し、検診等を受けられるようにする。	在庫の状況を確認したところ、既存の原稿で対応ができることが判明した。	新年度に向けて、内容が変更となる案内をもしなく抽出すること。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 新たな翻訳が必要な案内があるか確認をする。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 内容が変更となる事業などについては、多国籍市民の増加を踏まえて丁寧に対応すること。	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																
皆減	縮小	現状維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点				レ	3					4					4	B
チェック																
課題	外国籍市民の各国の登録者数に変動があり、その状況に応じて対応する必要がある。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	03020101															

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	伝えない情報を集約し、5か国語作成した。						多国籍市民の各国の登録者に変動があるため、状況に対して対応する必要がある。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	②	⑤	⑦						
現状維持	③	⑥	⑨	レ						
縮小	④	⑧	⑩							
休廃止	①									
皆減	縮小				現状維持	拡大				
コスト投入の方向性										
改革・改善策	登録者数に応じて対応していきたい。					登録者数に応じて対応していきたい。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保育園における多文化共生教育推進事業	事業期間	平成 21 ~ 年度	整理番号	06020211
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	作成担当者名	北澤 いずみ
				連絡先	622

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	07	第7章 心豊かな多文化共生社会を創る
				施策	01	第1節 外国籍市民の生活応援
				細施策	03	子育て・教育応援体制の確立
				事務事業	05	保育園・小・中学校における多文化共生教育推進事業
	予算事業名			会計コード	001	款 03 項 02 目 02 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市に在住する外国籍市民は微減傾向にありますが、諸外国との人的交流はますます活発化しており、職場、学校、地域社会など日常生活のさまざまな場面で外国籍市民と密接なかかわりを持つ時代を迎えています。保育園においても外国にルーツを持つ児童の入園があり、園生活、習慣、言葉、食事等で適応しづらい事例が報告されることがあります。このため、園児や保護者に対して多文化共生教育や情報提供を行い、より豊かな生活が送れるよう取り組みます。				
	現状と背景 （どうして）	外国籍の子どもの入園が増えていることから、外国籍市民の子どもが入園したときにコミュニケーションが十分取れず、トラブルになることがある。また、母国語だけでなく、様々な言語に触れ合う経験や、様々な文化に触れる経験を乳幼児期においても、環境づくりを行う必要があるため。				
	目的	受益者 （誰のために）	園児、保護者			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	園児や保護者が、多様な背景を持つ人々と共に暮らしていることを認識し、暮らしをより豊かにするために、お互いの違いを認め合い、互いに理解を深めあいながら協力できる多文化共生社会の実現を図ります。			
	手段・方法 （どうやって）	外国籍の園児に対しては、言葉が理解できないことによる発達への影響を考慮し、日本の生活習慣に慣れるよう支援を行います。また、ゆっくりとした日本語を使うことにより理解しやすくなるよう配慮します。日本人の園児に対しては、その子ども達のルーツの国の手遊びや歌、絵本などを紹介する機会を保育の中に取り入れ、相手の文化を尊重する機会を提供します。外国籍の保護者に対しては、生活習慣の違いから起こる課題に対して丁寧で分かりやすい対応に努めます。また外国籍園児が在籍する園の日本人保護者に対しては、異文化の紹介等を計画的に行い理解促進に努めます。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外国文化関連の体操、歌、リズム遊び、読み聞かせの実施	実施率	%	実施回数/保育園数×2回	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外国籍園児保護者の安心度	安心度	%	年度末安心者数/外国籍保護者数	100

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円							
	財源内訳								
	国庫支出金	円							
	県支出金	円							
	地方債	円							
	その他特定財源	円							
	一般財源	円							
	職員数								
	正規職員	人			0.01	0.01			
	嘱託職員	人							
臨時職員	人								
合計	人			0.01	0.01				
	対象（者）数								
	延利用（者）数 (b)								
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
	受益者負担額	円							
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-		
活 動 指 標 （ ）	実施率	目標			100	100	100		
		実績			60	200	100		
	-	達成率	%	-	-	60.00	200.00	100.00	
		目標							
	-	実績							
		達成率	%	-	-	-	-	-	
	成 果 指 標 （ ）	安心度	目標			100	100	100	
			実績			98	100	100	
		-	達成率	%	-	-	98.00	100.00	100.00
			目標						
-	実績								
	達成率	%	-	-	-	-	-		
備考									

事務事業名	保育園における多文化共生教育推進事業	事業期間	平成 21 ~	年度	整理番号	06020211	
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	作成担当者名	北澤 いずみ	連絡先	622

期	目 標	実 績	課 題
第1期	園長会・職員会での周知 多国籍の新入園児、保護者が園生活がスムーズな移行ができるように配慮する。	園長会で現状の把握と今後の取り組み方法を話し合う	各園での具体的な取り組みの検討と実施 保育士が多国籍の文化を学び理解し取り入れられるようにしていく。
第2期	多文化に触れる活動の計画の計画と実施 多国籍の保護者、園児が楽しく園生活が送れるようにする。	ロングモント市交換留学生との交流 英語の絵本に触れたり体操を楽しみ外国語、中国語の掛け声に親しむ。	交流内容を前園に周知し、各園での取り組みに活かしていく。
第3期	一日保育士体験の際に多国籍の保護者に絵本を読んでもらう等交流しながら異文化に触れ親しめるようにする。	英語の絵本展示、読み聞かせ、手遊び、英語の歌、運動会のリズム等を取り入れ楽しむ。	行事の時等取り入れてきたが保育環境や遊びの中で親しめるようにしていく。
第4期	日常の中にある様々な文化について子どもたちに伝える。	保育環境の中に英語に興味を持てるものを掲示 一日保育士体験の保護者や地域の方とのふれあいから多文化に触れる機会がもてた。	各園では保育環境や遊びに取りいれ子どもたちが自然に多文化に触れられるようにしていく。

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性	②	⑤	⑦
	多国籍の園児が保育園生活をスムーズにおくり、子どもたちが他の文化を理解し受け入れるためには、日常の中で言葉や情報に触れる環境が必要です。		現 状 維 持	③	⑥	⑨
	多文化共生教育を意識することで、保育内容に取り入れられるようになって		縮 小	④	⑧	⑩
	園長会等で意識づけを行い、多文化に触れる保育内容の実践と環境づくりを進める。		休 廃 止	①		
	多国籍の保護者とのトラブルはないが、一日保育士体験参加率は低いため安心して園生活を送り子どもの成長が実感できる環境にする。		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					3					4	B

課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の保育の中に保育士が多文化共生教育を意識をしているが、職員会等で時折、周知したり確認をして保育環境や遊びに取り入れていくことがより多文化に触れられることにつながります。</li> <li>外国籍の入所がある中でパンフレットの活用や保護者を巻き込んだ交流をしながら異文化に親しみ日本の文化や生活習慣に慣れるようにしていくことが必要です。</li> </ul>	記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 03030322
-----	---	--

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士は多文化共生教育を意識して取り組んできた。英語の絵本の読み聞かせ、体操、遊びなどに取り入れることで子どもたちが、多文化に触れて楽しむ機会が多くなってきている。</li> <li>外国籍の児童にはパンフレットや絵本の活用、一日保育士体験参加の外国籍の保護者交流などをしながら日本の文化や生活習慣に慣れるとともに、お互いの文化を認め合えるようにしていくことが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士は多文化共生教育を意識して取り組んできた。英語の絵本の読み聞かせ、体操、遊びなどに取り入れることで子どもたちが、多文化に触れて楽しむ機会が多くなってきている。</li> <li>外国籍の児童にはパンフレットや絵本の活用、一日保育士体験参加の外国籍の保護者交流などをしながら日本の文化や生活習慣に慣れるとともに、お互いの文化を認め合えるようにしていくことが必要です。</li> </ul>								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成 果 的 方 向 性	成 果 的 方 向 性	②	⑤	⑦	レ	③	⑥	⑨	④	⑧
休 廃 止	休 廃 止	①	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			①	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改 革 ・ 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生教育を意識して取り組み、日常の保育や生活・遊びに取り入れた保育環境を作ることで、生活や心をより豊かにしていくことが期待できる。</li> <li>パンフレットや絵本の活用と保護者を巻き込んだ交流などをしながら日本の文化や生活習慣に慣れるとともに、一日保育士体験等でお互いの文化を認め合える場をくくっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生教育を意識して取り組み、日常の保育や生活・遊びに取り入れた保育環境を作ることで、生活や心をより豊かにしていくことが期待できる。</li> <li>パンフレットや絵本の活用と保護者を巻き込んだ交流などをしながら日本の文化や生活習慣に慣れるとともに、一日保育士体験等でお互いの文化を認め合える場をくくっていく。</li> </ul>
-------------	--	--

最終評価年月日	平成28年5月16日	最終評価責任者	幼児教育課長	牛山津人志
---------	------------	---------	--------	-------



平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	多言語生活情報誌の発行事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	01070209
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子
				連絡先	145

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 07 第7章 心豊かな多文化共生社会を創る 施策 01 第1節 外国籍市民の生活応援 細施策 05 地域情報発信体制の確立 事務事業 02 多言語生活情報誌の発行事業		
	予算事業名			会計コード 001 款 02 項 01 目 05 事業 10		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）			外国籍市民が茅野市民としてこころ豊かな日常生活を送れるよう生活応援事業として、生活上必要な情報を提供するために生活情報誌を作成する。		
	現状と背景 （どうして）			外国籍市民への情報発信体制が整っていないため、市からの情報が外国籍市民へ届いていない。不安なく生活するために、わかりやすい生活情報誌が必要である。		
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	受益者	外国籍市民			
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	対象	同上			
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	意 図		外国籍市民が職場、学校、地域の中不安なく暮らしやすい生活ができ、生活範囲も広がる。			
	手 段 ・ 方 法		生活に必要な情報、保健、福祉、教育、税金、市内施設等の説明をした生活情報誌を印刷し、市民課窓口、家庭教育センター、市内大型店（西友）、諏訪中央病院に置いている。また、市民課窓口で転入した外国籍市民世帯に配布する他保育園等からの要望に応じて提供する。この他外国籍市民が集まる場所（食材店・教会等）にねこじやしちの岡元氏を通じて置いている。 平成26年度までは母国語（英語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、韓国語）のみだったが、平成27年度にやさしい日本語版の情報誌を作成し、日本語にも慣れていただくようにする。			
N （ ）	活動 指 標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		5ヶ国語による生活情報誌による支援	情報誌発行数（5カ国語）	冊		750
	やさしい日本語による生活情報誌による支援	情報誌発行数（日本語）	冊		150	
	成 果 指 標	成 果 ・ 効 果 は 何 ？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
生活情報誌配布数		配布数	冊	（日本語+5か国語）×150部	900	

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	442,525	275,207	16,770
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職 員 数	一般財源	円	442,525	275,207	16,770	82,000	86,000
	正規職員	人	0.01	0.05	0.05	0.05	0.05
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人			0.03		
対 象 （ 者 ） 数	合 計	人	0.01	0.05	0.08	0.05	0.05
	延 利 用 （ 者 ） 数 (b)						
	単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受 益 者 負 担 額	円					
活 動 指 標	情報誌発行数（5カ国語）	目標	冊	1,000	800	800	750
		実績	冊	600	800	800	700
	達成率	%	60.00	100.00	100.00	93.33	-
	情報誌発行数（日本語）	目標	冊				150
		実績	冊				100
	達成率	%	-	-	-	66.67	-
	-	目標	冊				
		実績	冊				
達成率	%	-	-	-	-	-	
成 果 指 標	配布数	目標	冊	1,000	900	900	900
		実績	冊	942	550	650	650
	達成率	%	94.20	61.11	72.22	72.22	
	-	目標	冊				
実績		冊					
達成率	%	-	-	-	-		
備 考							

事務事業名	多言語生活情報誌の発行事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070209	
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子	連絡先	145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	やさしい日本語のガイドブックの内容を点検し、完了次第起案をあげる。 他母国語の利用状況を確認し、追加する。 本町西友の閉店に伴い、一か所配置場所が減ったので代わる場所を検討する。	「やさしい日本語ガイドブック」の起案をあげ、決裁後現在設置している母国語ガイドブックといっしょに置く。	他母国語の使用状況を確認する。 転入する外国人が増える可能性はあるので母国語ガイドブックは必要だと感じる。 利用者からの意見を聞き、今後の作成等に役立てるために方法を検討する。
第2期	現在、置き場所が諏訪中央病院、横内西友店、産業プラザであるが、場所を増やし、多くの外国籍市民に知ってもらおう。 利用者からの意見を集約する方法を検討する。	随時、ガイドブックの補充をしているが、利用者からの意見を集約する方法は検討できなかった。	置き場所を増やす対策を考える。 利用者からの意見を集約することは取組がむずかしい。
第3期	外国籍市民サポートグループねこじやし茅野から置き場所について検討してもらおう機会を持つ。	現在の置き場所の他に教会、保育園はどうかと意見をもらう。	やさしい日本語でのガイドブックをはじめ他の母国語のガイドブックの利用状況を調査が必要と考える。
第4期	ガイドブックの利用状況の把握をする。 ガイドブックを増刷り。	ガイドブックの利用者が少なかった、時期的なものがあるのではないかと考える。	引き続き、やさしい日本語のガイドブックの利用状況の調査が必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 「やさしい日本語」のガイドブックも用意されていることを周知する必要がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 ①
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） ガイドブックの新たな設置場所を考える。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	前年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	
課 題	この生活情報誌は、市民課の外国人登録窓口や、各地区の保健福祉サービスセンターや、地区コミュニティセンターなどに備え付けてある、在庫が減ってきている。市民課でも転入者に渡してもらっている。また各課における業務内容をこのガイドブックを見て、詳しい説明を要求してくるが、本来はこの生活情報誌は、全般的に大まかな内容のものなので、各課の専門的な詳しい内容はそれぞれの課が必要に応じて対応することになる。 「やさしい日本語」作成を進める。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	01070240															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	日本とは習慣、伝統の違う外国人居住者が生活しやすくするためには、必要な生活情報が1冊にまとめたガイドブックは生活の助けになり有効である。母国語での表記は、理解しやすく、市役所業務においても、トラブルを防ぐことができる。	日本とは習慣、伝統の違う外国人居住者が生活しやすくするためには、必要な生活情報が1冊にまとめたガイドブックは生活の助けになり有効である。母国語での表記は、理解しやすく、市役所業務においても、トラブルを防ぐことができる。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後													
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持		③	⑥	⑨	縮 小		④	⑧	⑩	休 廃 止	
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																		
改革・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課の専門的な詳しい内容は、各課で対応することになるので、対応方法を検討しておく必要がある。</li> <li>平成24年度から毎年利用できる内容にして、各課の事業内容や制度が変更になった時にその部分だけ修正する。</li> <li>母国語の他に「やさしい日本語」も作成し、外国籍市民が母国語だけに頼らず、日本語も習得できるきっかけを作る。</li> <li>各課の専門的な詳しい内容は、各課で対応することになるので、対応方法を検討しておく必要がある。</li> <li>平成24年度から毎年利用できる内容にして、各課の事業内容や制度が変更になった時にその部分だけ修正する。</li> <li>母国語の他に「やさしい日本語」も作成し、外国籍市民が母国語だけに頼らず、日本語も習得できるきっかけを作る。</li> <li>利用者へのアンケート調査等により、改善を図る必要がある。</li> </ul>																		

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	パートナーシップのまちづくり推進課長	田 中 岳 男
---------	------------	---------	--------------------	---------